

尼崎城を  
眺めながら  
城主、青山幸利<sup>よしとし</sup>は  
たびたび  
涙しました。  
なぜでしょう？

尼崎を知る、もっと楽しむ。

# てらまち学、開学。

てらまち学 / Vol.1 尼崎城主 青山幸利から学ぶ尼崎らしさ

2018年9月26日(水) / 10月10日(水) 19:00-21:00

主催 | てらまちプロジェクト(尼崎信用金庫+阪神電気鉄道株式会社)

協力 | 尼崎市立地域研究史料館、尼崎市中央振興センター、尼崎市社会福祉協議会中央支部、公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団  
企画運営 | 株式会社ライフデザイン 阪急阪神

尼崎信用金庫  
AMASHIN

"たいせつ"がキッカ。  
阪神電車

表面の答えは、尼崎城が泣けるほど美しく立派で誇らしかったから。

「ことのほか」美しかったので「琴浦」という名前がつくほど

尼崎城(2018年度末再建予定)は美しかったのです。※諸説あります

意外な歴史を楽しむ「てらまち学」を通して新しい地元の魅力を探しませんか?

てらまちプロジェクトが新しい「学びの場」をはじめます。

# てらまち学、開学。

てらまち学 / Vol.1

## 尼崎城主 青山幸利よし としから学ぶ尼崎らしさ

- 日時 | ①2018年9月26日(水) / ②10月10日(水) 19:00-21:00(全2回)
- 会場 | 大覚寺(尼崎市寺町9)
- 参加費 | 無料
- 対象 | 寺町・開明町エリアにお住まいの方、お城や地域の歴史に興味のある方
- 講師 | 大谷 邦郎 / グッドニュース情報発信塾 塾長(元毎日放送 ラジオ報道部長)  
河野 未央 / 尼崎市立地域研究史料館 職員
- 参加方法 | 当日参加可能・事前申込優先
- 定員 | 各回20名程度
- 申込方法 | 下記QRコード、またはFacebook(@teramachi.pj)からお申込みください



※会場内では写真・映像撮影を行い、撮影したデータは広報等で使用することがございます。ご了承の上、ご参加ください。



おおたに くにお  
大谷 邦郎 ファシリテーター 講談制作

グッドニュース情報発信塾 塾長  
(元毎日放送 ラジオ報道部長)

記者として放送現場にいて、ラジオ報道部長を務めた後、宣伝部長に。「取材する側」と「される側」の両方を経験し、毎日放送を早期退職した後は、企業や自治体などで情報発信や危機管理広報等のセミナーやコンサルタントを行う。一方で「講談作家」の肩書を持ち、地域講談や起業家講談を手掛け、古典芸能・講談の魅力発信と地域の活性化にも活動のフィールドを広げている。



こうのみお  
河野 未央 歴史解説

尼崎市立地域研究史料館 職員

1995年神戸大学文学部に入学。神戸大学大学院文化科学研究科修了後、同大学院院人文科学研究科地域連携センター研究員、尼崎市立地域研究史料館の嘱託職員、関西圏の大学の非常勤講師、近大姫路大学(現・姫路大学)の助教などを勤め、2014年4月より尼崎市立地域研究史料館の正規職員となる。

1回目

青山幸利の生きていた時代とは?

9月26日(水)

19:00-21:00

尼崎城 青山家2代目城主・青山幸利。まずは尼崎にまつわる歴史を知り、彼の生きた時代について学びます。

2回目

青山幸利ってどんな人?

10月10日(水)

19:00-21:00

幸利の日常エピソードから今に通じる尼崎らしさを考え、思わず誰かに伝えたいくなるようなオリジナル講談を作ります。



会場 大覚寺(尼崎市寺町9)  
阪神尼崎駅より南西へ徒歩5分

※会場には駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。

後日開催 オリジナル講談お披露目会 11月11日(日)

※同日開催: サンビックまつり2018

2回のワークショップで再発見した尼崎らしさや城主の幸利の話をもとに「ご当地講談」を作り、プロの講談師の方に披露いただきます。

講談とは?

日本の伝統芸能のひとつ。釈合(しゃくあい)と呼ばれる小さな机の前に座り、張り扇(はりおうぎ)で叩いて調子を取りつつ、軍記物や政談など、歴史にちなんだ読み物を注釈を付けてわかりやすく伝える話芸。



きよくどう・こなんりょう  
五代目 旭堂小南陵  
講談師

2001年7月旭堂小南陵(現四代目 旭堂南陵)に入門。OL・俳優を経て講談師に。2015年第70回文化庁芸術祭新人賞を受賞。2016年11月、五代目 旭堂小南陵を襲名。



これからの尼崎も、「住み続けたい」「訪れたい」「移り住みたい」「働きたい」まちになるように。てらまちプロジェクトは、2017年4月にスタートした、阪神尼崎駅南側の寺町・開明町かいわいを中心に、市民・地元のみならず、尼崎信用金庫と、阪神電車が一緒に手をとりあって進めていくプロジェクトです。

問い合わせ

てらまちプロジェクト事務局(株式会社ライフデザイン阪急阪神)

TEL 06-6373-5394

詳細や最新情報は、てらまちプロジェクトFacebookページ(@teramachi.pj)をご覧ください。